

ゆった〜り山行実施記録表

2024年7月20日 YS

山行名	八子ヶ峰と白樺湖一周ウォーキング [1,833m/長野県]			
実施日	2024年7月18日(木)~19日(金) 一泊二日 ハイエース利用			
天候/参加人員	天候:晴 レベル:★ 参加人員:11名(申込み11名)			
パーティスタッフ	省略			
参加メンバー	省略			
費用 一人当たり 21,850円	【内訳】 ハイエースレンタル料:20,020×2=40,040円、ドライバー謝礼:20,000×2+2,000=42,000円 燃料代:6,054円、高速代:相模湖IC~諏訪南IC 3,790×2=7,580円 宿泊料金:11,150×12=133,800円、飲み物代:7,700円 通信費:1,000+1,946円 集金額:21,850×11=240,350円、240,350-240,120=230円、(カンパ金 230円)			
歩行/行動時間		歩行時間	休憩時間など	行動時間
	ガイドブック	1:55	—	—
	計画	3:50	1:00	4:50
	実行	3:54	1:20	5:14
実行コースタイム記録				
7月18日(木) 天候(晴) 44 30 旧ヨカハ前 =====相模湖IC=====談合坂SA =====双葉SA=====諏訪南IC=====スズラン峠 -----ヒュッテアルピレオ----- 6:15 7:25 7:32 7:46 8:40 8:55 9:27 10:10(トイレ体操)10:26 11:10(昼食)11:55 30 05 80 45 分岐 -----1,883.4ピーク -----八子ヶ峰山頂 -----八子ヶ峰公園 -----八子ヶ峰ホテル=====ペンションブルーベリー 12:25 12:55 13:10 13:15 13:20 14:40 14:55 15:40 15:50 16:00(泊)				
7月19日(金)天候(薄曇り) ペンションブルーベリー=====霧ヶ峰富士見台駐車場 =====白樺湖手前広場=====湖畔駐車場=====諏訪中央病院===== 9:00 9:25(御花畑見学)10:10 10:20 11:50 12:08 13:20 14:10 14:30 諏訪南IC===== 談合坂SA===== 相模湖IC===== 本厚木駅 14:45 16:05 16:35 16:55 18:20頃				
コースの概要、特記事項、反省事項等				
7月18日(木) 前日まで雨模様でいつ梅雨明けか心配しましたが、スズラン峠へ着くと気持ちよく晴れて、準備体操も眩しいくらいであった。木陰の中のやや急な登山道を進むと二手に分かれ、どちらでも合流しますとの看板があり右を進む。木陰を過ぎて草原の中にヒュッテアルピレオが寂しく建っており、その前で早い昼食とした。 背の低い笹原の緩い登り下りを繰り返し、八子ヶ峰ピークに到着。右側はスキー場でリフトと人工降雪用の水取り出し口がある。この辺は冬でも降雪量は少なく人工降雪機に頼らざるを得ないらしい。 直ぐ隣に八子ヶ峰山頂があり、山頂の道標には左に東急リゾート方面のトレイルランニング用の道ははっきりしていたが、白樺湖方面の道はそこで途切れている。一旦右下のスキー場に降り、急坂を下ってスキー場の作業小屋のわきで登山道を探すと、左の方にわずかに踏み跡があり、ここが登山道だと思いながら進むが自信がなく、不安を抱えながら進むと朽ち果てた道標があった。もちろん文字が読める状態ではないが、朽ち果てても道標があると言うことは登山道で間違いはなさそう。30数年前に来たときは登山道もはっきりしていたが最近ほとんど登山者がこないらしい、ブログにも登山道が荒れていてははっきりしないと書いてあったので、はっきりしない登山道だから間違いは無いと逆に自信が出たのは皮肉でしょうか。登山者がほとんど歩かない道には動物たちの足跡やふんがいっぱいあり、最近では人より動物たちの通路になっているようだ。 何度も登り下りを繰り返し、途中休みながらゆっくりゆっくり歩くこと1時間20分、ようやくベンチのある八子ヶ峰公園に到着。真下のスキー場の向こうにホテルがあり、その駐車場に我々を待っている車が見える。休憩の後スキー場の道を下るのだが、そこはわらび畑のようで、シーズンに來れば凄く採れること間違い無いと思ったが、よく見ると後から芽を出したわらびがあり、それを摘みながら降りるからなかなかバスへ到着しない。ま、仕方ないかと諦めるがそれより登山道が間違っていたことに感謝する。 ペンションブルーベリーに着くと、きれいな若奥様が出迎えてくれた。お風呂も天然温泉とのこと、とても気持ちがいい。露天風呂は大きな鉄釜できていて、こんなでかい釜は何に使っていたのかと考えてしまう。 (注:オーナーに後で確認したところ、日本一の寒天の産地「茅野市」で、寒天を製造する際、この大釜で天草を煮出したそうで、廃業した業者から譲り受けた貴重な鋳物製巨釜だそうです)。				

湯につかると首や腕がヒリヒリするので初めて気が付いた。腕や首が真っ赤に日焼けしていた。高原の涼しい風にあたっていたので、日焼けするとは全く考えていなかった。

夕食もおしゃれな洋食でとても美味しい。生ビールでの乾杯はいつになくのご越しが良い。赤ワインとビールで酔っ払った人もいたようだ。

サロンにはグランドピアノがあって、食後のひとときを歌声喫茶としゃれこんだが、今日は貸し切りなので誰にも気を遣わずに大きなこえで歌うことが出来た。Oさんがピアノを弾き、Iさんと私のハーモニカ伴奏で持っていった歌集を見ながら元少年少女合唱団が大きな声で合唱し、子供にかえったひとときを楽しんだタベであった。

### 7月19日（金）

ここまで来たのだから霧ヶ峰のニッコウキスゲが見たいねと言うことで、計画表より早く、朝9時に出発して霧ヶ峰富士見台駐車場に車を止めた。そこから道路を渡った斜面に咲くニッコウキスゲの見学に出かけた。鹿よけの木戸を開けて斜面に咲く花々を見学、ニッコウキスゲはやや最盛期を過ぎた感があったが、まだまだ見応えがあった。この斜面にはニッコウキスゲの他にも、確認できた花はフジバカマやレンゲショウマ、アヤメなど13種類が確認できた。ここは名前のように富士山が望める所で富士見台と言うだけあって眺めが良い。

一通り花を愛でてから予定の白樺湖一周ハイキングへ向かった。もう少しで湖畔へ着く手前で運転しているIさんが気分がすぐれないと言うことで右側のあずま屋のある広場にバスを入れ、しばし休憩をとることにして、様子を見ることにした。

その後の処置は別途報告することにしますので、ここでは省略させていただきます。

ペンションブルーベリーの方たちには並々ならぬお世話を頂き、地獄に仏とはこういうことだと実感した。その後、本厚木には午後6時20分ころ無事到着しました。

以上、文責：CL

### 【計画者からのコメント】

八子ヶ峰ハイキングコースを案内する自信がなく、計画立案は私が担当しましたが、CLとSLは、同行する他のベテランメンバにお願いし、心よく引き受けて頂き感謝です。

7年前に喜寿を迎えた記念に、山友3人で白樺湖畔のホテルに宿泊して、今日のコースを登ったのですが、頂上から湖畔のホテル迄歩く予定が、方向違いの蓼科湖方面に通じる東急トレイルランを下ってしまい、タクシーでホテルに戻った苦い経験があり、是非リベンジを果たしたいと計画しました。今回、下山路がはっきりせず、判り難い事が解り、当時下らなくて良かったと思いました。

お蔭様で思いが叶い嬉しいのですが、翌日の思わぬ出来事で、どうなるか心配しましたが、解決策が見つかり安堵しました。

CL、SLと皆様のご協力に感謝し、素晴らしかった眺望と共に、忘れられない山行になりました。

以上、文責：計画立案者

【八子ヶ峰ハイキングコースからの眺望；山座同定できた日本百名山】（近距離の百名山から右回りで）美ヶ原王ヶ頭、霧ヶ峰車山、蓼科山、八ヶ岳赤岳、南アルプス；鳳凰三山、北岳、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、中央アルプス；空木岳、木曾駒ヶ岳、御嶽山、乗鞍岳、北アルプス；穂高岳、槍ヶ岳、常念岳、立山、劔岳、鹿島槍ヶ岳、五竜岳、白馬岳、北信；高妻山、火打山、妙高山、上信；四阿山、草津白根山、浅間山  
(以上26座)

(番外編；霧ヶ峰富士見台からの眺望) 富士山

以上、文責：SL